

平成28年消防出初め式・出初めパレードを挙行



↑消防出初め式の様子

1月17日（日）、広野町消防団、広野町婦人消防隊および広野火力発電所自衛消防隊が、広野町総合グラウンドで平成28年出初め式を行いました。広野幼稚園の園児も、出初め式とそれに先駆けて行ったパレードに、そろいの法被姿で参加しました。園児たちは、強く吹く浜風の寒さにも負けず、「私たちは火遊びをしません」と力強く防火宣言をしました。

「ひろのてらす」の概要を説明



↑「ひろのてらす」概要説明会見の様子

2月2日（火）、広野町役場で公設商業施設「ひろのてらす」の概要説明会見を町と出店者合同で開催し、報道機関に開業日やテナント構成などを発表しました。施設開業は3月5日（土）で午前9時からオープニングセレモニーを開催し、出店者はキーテナントがスーパーマーケットのイオンで、ほかにリフォーム、飲食業（2店舗）、クリーニングが入ります。（関連記事を24ページに掲載）

“防災拠点道の駅ひろの”整備合同専門部会を開催



↑“防災拠点道の駅ひろの”整備合同専門部会の様子

2月5日（金）、広野町中央体育館で第1回“防災拠点道の駅ひろの”整備合同専門部会を開催し、遠藤町長から委員に委嘱状を交付しました。“防災拠点道の駅ひろの”整備検討委員会のワーキンググループとして設置したものです。

広野産の米とみかんをPR



↑大勢の来客でにぎわう広野町ブース

1月23日（土）、24日（日）の2日間、静岡県伊東市で第22回伊東温泉めちやくちや市が開催され、広野町の販売ブースでは、恒例となった広野産の餅米を使ったつきたて餅の無料配布に加えて、今年は広野町産みかんを加工したジュースの試飲を行い、風評被害解消のためのPR活動をしました。初日の23日は、遠藤町長自ら餅をつき、来場者に振る舞いました。

町民バスを新車に



↑新車になった町民バス

広野町は、車に乗れない町民の足として無料で広野町民バスを運行していますが、3台あるバスのうち購入してからの経過年数が長い2台を新車に更新しました。更新したバスは、車体の色を鮮やかな青色にしたので、バスがやってくると遠くからでもよく分かります。新しいバスは2月16日（火）から活躍しています。

町内の農家が家族経営協定を締結



↑家族経営協定書締結式の様子

2月9日（火）広野町役場で家族経営協定書締結式を開催し、町内の農業従事者である池田政明さん、千恵子さん夫妻が協定書に調印しました。町では通算5件目、震災後2件目の協定締結で、高橋徹福島県双葉農業普及所長と遠藤町長が立ち会いました。この協定は、個人の農業者が共同で認定農業者になるために必要なもので、経営指針やお互いの役割分担などを定めるものです。

“ふる里ふれあい”マラソンを開催



↑川内さんと一緒にスタートする参加者

1月24日（日）、広野町総合グラウンドを発着点に、第2回広野“ふる里ふれあい”マラソン～復興にけるリレーハーフマラソン2016～を開催しました。「リレーハーフマラソンの部」と「ファミリーランの部」を行い、今回は、公務員ランナーとして知られる埼玉県職員の川内優輝さんがゲストランナーとして出場するとともに、町民と交流しました。（2月号の「つぶつぶ通信」で一部既報。関連記事を7ページに掲載）

社会教育委員を委嘱



↑社会教育委員委嘱状交付式の様子

1月12日（火）、広野町中央体育館で、社会教育委員の任期満了に伴い新たに選任された7人の委員に、浅野教育長から委嘱状が手渡されました。委員の任期は、平成27年12月1日から平成29年11月30日までの2年間です。新社会教育委員の体制は次のとおりです（敬称略）。

- 議長 田村弘一
- 副議長 松本登志枝
- 委員 猪狩明子、大和田雅一、鈴木すみ、鈴木宣雄、星秀美